



荻川小だより

〒956-0011 新潟市秋葉区車場 922-1
電話：0250-25-2171 FAX：0250-25-2172
<http://www.ogikawa.city-niigata.ed.jp/>

令和6年7月19日発行 No.3

見ようとするときに見えるもの

教頭 菅原 智昭

「努力のつぼ」という神話の一節です。

人が何かを始めようとか、今までできなかったことをやろうと思った時、努力のつぼが与えられるそうです。つぼの大きさは人それぞれで、本人には見えません。つぼの中に「努力」を注いでいくと少しずつたまり、いつか「努力」があふれ出ます。できる時がやってくるると同時に、つぼの大きさも分かるのです。

私自身もう少しがんばってみようかなと勇気づけられるお話だと感じています。学級担任時代、水泳を苦手としていた子どもたちに話したのを覚えています。

「努力」の他にも見えないつぼにためているものがあります。それは「信頼」です。挨拶をする、相手が聞き心地の良い言葉を使う、相手の話にじっくりと耳を傾ける、互いに決めた約束を守る、間違いを素直に認める、相手に不快な思いをさせたら謝る、相手のために時間を費やす・・・つぼに一滴、また一滴と「信頼」を注いでいます。

つぼの大きさや、入っている「信頼」の量は目には見えません。先に挙げたような言動を毎日こつこつと続けることが大切なのだと思います。そして、つぼに「信頼」を入れていくことが信頼関係をつくり、安心や喜び、勇気を与えるのだと思います。

『大切なものは目には見えない』

サン=テグジュペリ「星の王子様」という作品に出てくる言葉です。大切なものは目には見えない。だからこそ、見ようとするのが大切なのだと思います。自分自身のこれまでの言動を振り返る、相手の気持ちを想像する、そのようなことが信頼関係づくりには欠かせない、ということなのでしょう。

いよいよ夏休みが始まります。子ども、保護者の皆様、教職員、各々が有意義な夏休みを過ごし、晴れやかに笑顔で8月26日（月）の休み明けを迎えたいですね。